

日本香粧品学会

第 50 回 教育セミナー プログラム

角層ケア最前線 ～美の未来を拓く～

ご挨拶

長年ご好評を頂いております日本香粧品学会の教育セミナーも、この度 50 周年を迎えます。

今回のテーマは「角層」です。角層は皮膚の最外層にある、わずか 0.02mm の薄い膜ですが、肌の健康や美肌を維持するためにきわめて重要な働きをしています。2025 年度のセミナーでは、角層の構造と機能、機能評価、角層ケア製剤の開発と機能性表示、角層にフォーカスした肌診断とカウンセリングに関して、産官学からのエキスパートによる最先端の知見を提供していただきます。そして最後に行政、皮膚科医の立場から、これからの香粧品開発に関する要望と提言を語っていただきます。

当日は、皮膚の「角層」に関して、日々進歩する科学的知見を広げていただくと同時に、参加者同士の交流や演者の先生方との自由で活発な質疑応答も楽しんでいただければ幸いです。本セミナーが、必ずやご参加の皆様にとって、究極の美肌をめざした未来の香粧品のコンセプト立案や新たな商品開発に役立つものと期待しております。

学術委員長 森脇 真一

日本香粧品学会 第50回教育セミナー プログラム

- 10:25~10:30 開会挨拶 委員長 森脇真一 (大阪医科薬科大学)
- 10:30~11:10 健やかで美しい肌を作る角層とは (セラミドを含めた角層総論)
座長 飯村菜穂子 (新潟薬科大学)
内田良一 (ハリウム大学)
- 11:10~11:50 角層ケアを具体化する角層評価技術
座長 本間俊之 (富士フィルム株式会社)
平尾哲二 (武庫川女子大学)
- 11:50~12:30 角層ケアに配慮した製剤技術
座長 作山 秀 (第一三共ヘルスケア株式会社)
度会悦子 (花王)
- 12:30~14:00 講師の個別懇談会/昼食休憩
- 14:00~14:40 皮膚領域の機能性表示食品の現状と今後の皮膚領域表示拡大に向けた健康食品産業協議会の取り組み
座長 原田 努 (昭和医科大学)
西村栄作 (健康食品産業協議会/森永製菓)
鉄井崇仁 (健康食品産業協議会/資生堂)
- 14:40~15:20 顔・皮膚のカウンセリングと分析技術
座長 吉田雅紀 (東京工科大学)
水越興治 (ポーラ)
- 15:20~15:30 休憩
- 15:30~16:00 香粧品業界への期待～行政から
座長 沖山康子 (日本ロレアル)
野村由美子 (厚生労働省)
- 16:00~16:30 香粧品業界への期待～皮膚科医から
座長 森脇真一 (大阪医科薬科大学)
矢上晶子 (藤田医科大学)
- 16:30~16:35 閉会挨拶 副委員長 沖山康子 (日本ロレアル)
- 16:35~17:30 講師の個別懇談会

開催日：2025年9月12日(金)

会場：東京証券会館

*アクセスは最終ページの地図をご参照ください

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号

東京証券会館8階 (TEL. 03-3667-9210)

参加費：会員	13,000円(事前)	15,000円(通常)
非会員	18,000円(事前)	20,000円(通常)
学生会員	1,000円(事前)	2,000円(通常)
学生非会員	2,000円(事前)	3,000円(通常)

*賛助会員の企業に所属している方は会員価格です。

*詳細は [HP](#) をご覧ください。

Points of Interest!

健やかで美しい肌を作る角層とは（セラミドを含めた角層総論）

[内田良一 先生]

スキンケア成分の医薬部外品ガイドラインが確立されたこともあり、真皮ケアが皮膚の老化対策として注目されている。しかし、角層のバリア機能の低下は、表皮全体に影響を与え、さらに、表皮の状態は真皮にまで影響を及ぼす。角層ケアは、瑞々しい角層を保つことだけでなく、老化対策を含め、皮膚の健全性維持に予想以上の潜在的作用を持つ。角層の構成成分、構造、機能を再考し、角層ケアのパラダイムシフトを探りたい。

角層ケアを具体化する角層評価技術

[平尾哲二 先生]

スキンケアの主な対象である顔面角層は、絶えず外界の刺激に晒されており、肌荒れなどのトラブルを生じやすいが、適切なケアにより予防・改善が可能である。テープストリッピングによりほぼ非侵襲的に採取される最外層角層は、トラブルのメカニズム解明だけでなく、角層ケアの有用性の実証にも適用できる。本講演では、角層ケアを具体化する角層評価技術について、事例を挙げて紹介し、今後の発展性について考えたい。

角層ケアに配慮した製剤技術

[度会悦子 先生]

角層は、ラップ1枚の薄さでありながらも、外界刺激から肌を守り、水分蒸散を抑制するなど、非常に重要な役割を果たしている。我々は、この角層の持つ機能や構造に着目したスキンケア製剤の開発を行ってきた。本セミナーでは、細胞間脂質構造に着目した基本製剤開発とその肌改善効果、さらには発展系として他原料(ポリマー)と組み合わせた際の機能発現について解説する。

Points of Interest!

皮膚領域の機能性表示食品の現状と今後の皮膚領域表示拡大に向けた健康食品産業協議会の取り組み

[西村栄作 先生、鉄井崇仁 先生]

機能性表示食品市場は拡大を続け、現在約 7,000 億円規模に達しています。(一社)健康食品産業協議会は、企業単独では対応困難な課題解決のため、業界全体の連携を図り行政への働きかけを推進しています。特に皮膚領域の機能性表示については、消費者の多様なニーズに十分対応できていない現状があります。本セミナーでは、当協議会としての取り組みを通じ、皮膚領域の機能性表示拡大に向けた最新動向と課題について紹介いたします

顔・皮膚のカウンセリングと分析技術

[水越興治 先生]

本講演では、角層細胞分析に端を発し、デジタル画像解析を基盤とした皮膚内部構造推定技術へと発展し、累計 2,000 万件以上の顔・皮膚解析データを蓄積・活用してきた弊社の、カウンセリングおよび分析技術研究の歩みを概説する。データ解析の観点からは前述の蓄積した角層形態やシミ・シワといった特徴量に関するビッグデータから日本人の肌の特徴を捉える研究事例を紹介する。分析技術の観点からは、皮膚表面の画像・動画の計測データから皮膚内部構造・物性を推定する学習機構の構築の事例を概説する。さらに、皮膚計測データからの構造解析や特徴量抽出に対し深層学習を用いた事例を紹介し、近年のマルチモーダル解析と AI を統合したカウンセリング技術開発の展開を紹介する。

化粧品業界への期待～行政から

[野村由美子 先生]

化粧品は、本邦では薬機法で規制されており、特に医薬部外品は日本独特の制度である。薬機法の下で、製造販売業の許可、医薬部外品及等に係る品目毎の承認、化粧品に係る製造販売届出、重篤副作用報告等が規定され、規制の国際整合性にも配慮しつつ、品質の確保された製品を安心して使用する環境が整えられている。規制は負担と捉えられがちだが、安全安心な化粧品を世界に送り出せる強みとして活用してほしい。

化粧品業界への期待～皮膚科医から

[矢上晶子 先生]

角層は、美しく健やかな肌を保つうえで基盤となる構造であり、スキンケア製品の有効性と安全性はその健全な維持と深く関係している。性別・年齢・肌質など多様な肌を持つ生活者が化粧品を使用する現代において、角層ケアの視点を含んだ高機能かつ安全な製品開発が求められる。本セミナーでは皮膚科医の立場から、化粧品業界への期待と、皮膚障害事例の最小化や安全性確保に向けた協働の重要性について述べる。

参加申込方法：

日本化粧品学会 第 50 回教育セミナー

学会ホームページ (<http://www.jcss.jp/event/seminar>) より
事前登録

参加費支払い；郵便振替もしくはクレジット決済

※一旦払い込まれた参加費は払い戻しできません。

参加申込開始：2025 年7月予定

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局

〒162-0801

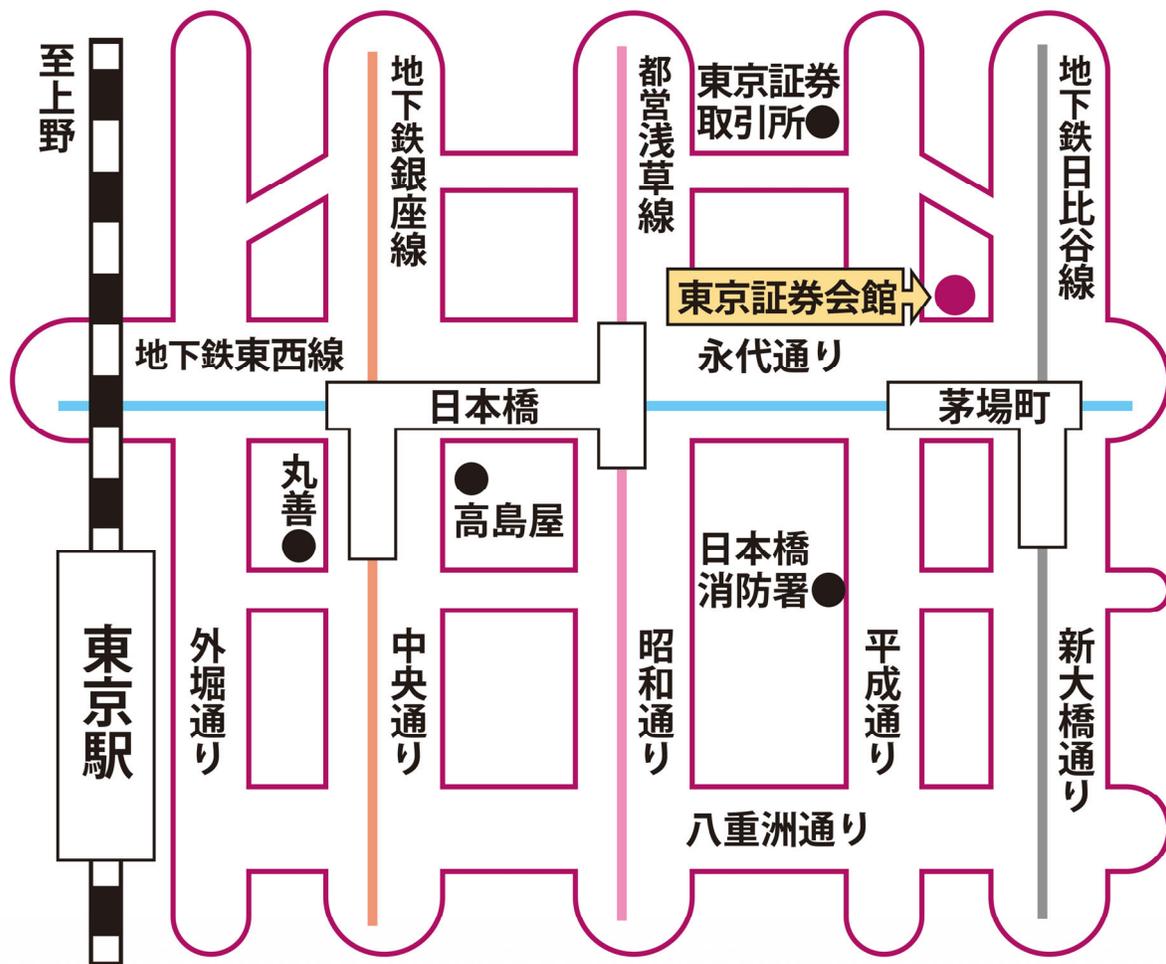
東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

TEL. 03-6824-9367

FAX. 03-5227-8632

E-mail. jcs-semi@conf.bunken.co.jp



■東京メトロ 東西線・日比谷線 茅場町駅8 番出口直結

■東京メトロ 銀座線・東西線、都営浅草線 日本橋駅

■JR 東京駅 八重洲北口 徒歩 10分

D2 出口 徒歩 5分